

## 聖アンデレ教会のみなさま

### 平和

猛暑という言葉しか当てはまらないような日々を過ごしています。みなさまお変わりありませんか。感染症の収束の兆しも見えにくく、天候も不順、心配や不安の種も尽きることはないかと思えます。しかしそんなときだからこそ、一粒のからしだね（ルカ 13:19、17:6）、神さまの恵みのしるしとして、わたしたちの心とからだの中にそっと隠し置かれてる飛躍の種のことを思い出しましょう。種は、社会のいのちを育むものとしての大きな成長、あるいは絶望の中にあっても、絶望している者さえ受け止めてくださる神さまの愛への気づきのきっかけとして、わたしたちのなかにしっかりと蒔かれ育まれてゆきます。

さて、聖アンデレ教会は、キリストが教会に託された使命を受け継ぐものとして、礼拝と宣教と奉仕の営みを通して、折りがよくても悪くても絶えず「み言葉を宣べ伝えます」（テモテⅡ4:2）。それが変わることはありません。しかし、その表現ややり方のさまざまな変更や工夫、準備、節制、努力が求められるということは以前にお伝えしたとおりです。

そこで、わたしたちは、8月16日（日）以降、引き続きお休みとする「こどもとともにささげる礼拝」以外の礼拝を、以下のように行うこととします。

①教会での礼拝への参加は、1日1回までとします。

②主日の午前中の礼拝（7時30分、および10時30分）を聖餐式（またはみ言葉ばの礼拝）としてささげます。

③主日の午前中の礼拝には、すでにお伝えしている通り、A.B.Cの3つのグループごとに参加できる日を割り振って、それぞれご自分のグループに決められた日に参加していただくことができます。

④週日の朝7時30分の聖餐式（またはみ言葉の礼拝）、第1水曜日10時30分の逝去者記念聖餐式、主日の17時00分の夕の礼拝は、聖堂の定員を少なく設定して対応します。出席を希望される方は、あらかじめ教会に連絡して、参加の確認をしてください。

以上、くわしくは教会のホームページに掲載の「礼拝参加について（2020年8月）」をご参照ください。（この文書印刷物希望の方は教会にご連絡ください。FAX送信または郵送します）

いうまでもなく、このことによって、みなさまの礼拝参加の機会が増えることとなりますが、無理な参加や不安をお持ちの方に参加をもとめるものではありません。引き続いて、お一人おひとりが、日常生活における感染の予防、心と体の健康にお心がけいただきながら、不安のあるとき、体調の悪いときは決して無理をせず、自宅で祈るという選択を大切になさってください。また電話礼拝に加えて、映像での礼拝配信の準備も進めています。それぞれの場所で、これら聖堂での祈りに心を合わせていただければと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

また万一、ご自身ご家族が感染者あるいは濃厚接触者となった場合には、教会にご連絡ください。お祈りをともにいたしましょう。（プライバシーには十分に配慮致します。）

みなさまお一人おひとりの上に、神さまのお守りと祝福をお祈りいたします。

2020年8月13日

牧師 司祭フランス下条裕章